**現場の週報から（令和3年7月5日～7月25日）**

**【7月5日～7月11日】**

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・Iさんが畑の野菜を収穫し、職員へ照れながら渡して下さいました。その野菜を使用して夏野菜カレーを作り、皆さんと一緒に食べました。Iさんも野菜の出来に満足しているご様子でした。

・畑の紫蘇を使い、おやつ作りをしました。餃子の皮を使用したピザ風おやつは、好評で食べる人を笑顔にして「うめえなー」「美味しい」などの声を頂きながら、沢山作ったおやつもあっという間に皆さんで召し上がっていました。

・「人生会議」ご利用の方々に、今後のお話しを伺いました。職員が上手く話しを進め、最初は冗談交じり笑いありでしたが、話を進めていくうちに、ご利用の方「喋る人」・「聞く人」双方が真面目で、今までの「歩んできた人生」と「今後の人生」の話しを聞く職員は、人生の先輩から話しを通して学んでいるかの様な光景がありました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週は「モチとりぞうさん」「AED」の使用訓練を行いました。ご利用者の皆さんも一緒に参加して頂き「モチとりぞうさん」の使用訓練時には、「それ何なの？何に使うの？見た時もないよ」と興味津々のご様子。喉に食事が詰まってしまった際に使う事を実演しながら行うと「はあ、こんなの考えて作るなんてすごいね。あるもので工夫なんだね」と感心されておりました。AEDの使用訓練も合わせて職員は瞬時の役割分担が必要である事や保管場所の確認などを行い、万が一に備えました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・いちいの敷地内の梅の木に、梅が沢山実り、ご利用者さんと一緒に夢中になって落ちた梅をもぎ取っていました。収穫した梅は洗ってへたを取り、梅ジュースにしました。梅雨が明ける頃、美味しく頂ければと楽しみにしています。何気ない日々の日常を大切にしたいと思います。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・スタッフが笹を持って来て、入居者さんと七夕飾りをつくり、短冊に願い事を書いて飾っています。

お一人の入居者さんがイキイキと厳しくスタッフに飾り作り指導する姿がとても微笑ましかったです。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・天気はいまいちで、なかなか外へのお散歩やドライブが難しい状況ですが、室内で楽しめることを企画しています。7日には七夕イベントを行いました。今週は1階ユニットで、誕生日会と皆さんにいつもよりおしゃれをしていただいての撮影会を予定しています。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・ご家族のご面会時に、「面会に来る度に、中庭が賑やかになっていて楽しみなんです。みなさんで楽しまれているのが伝わってきます」と中庭の花壇をみながらお話しを頂きました。そのことをお花を育てるのを楽しまれているSさんにお伝えすると「みると分かるんだな～。ありがたいね～。」と微笑みながらお話ししてくださいました。楽しみのある生活とは新しく何かをするということだけではなく、今までの営みの中から継続して行うことができることが一番心がほっこりするんだなと考えさせられました。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・5日に頂いた竹に皆さんの願いを込めた短冊を付けて両方のホールに七夕の飾りつけをしました。利用者様と七夕の思い出を話しながら終始楽しそうな様子で飾り付け行いました。皆さんの願いで多く見られたのは「健康に過ごしたい」との願いでした。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・ご利用者のHさんは手作業が好きで右麻痺ですが一生懸命取り組んでいます。スタッフの伊藤さんが刺繍もあるけど台があればHさんでもできるのではないかと、菊池さんに台を作れないか提案しすぐに台を作ってくれました。できあがった台を使って刺繍を行いました。Hさんからは、「これだと私でもできる。いいね。」と喜んでくれました。できないことをどうやったらできるようになるかを考えることができる出来事でした。

■介護老人保健施設いずみの杜：荒木卓也さん

・７日七夕ということで短冊に願い事をスタッフ利用者さんで書きました。普段聞けないご本人の想いが記されており、今後その想いが叶うよう願い込めて飾らせて頂きました。願いや想いを引き出すことは介護の現場でも大切なことですが、スタッフさんやその他の方々から、どのようにしたいか、悩みは無いのか、日々のコミュニケーションから引き出すことも大切だと感じました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・Hさんの誕生会開催、糖尿病でカロリー制限がありますが当日は「甘い物が食べたい」というご本人の希望に沿ってスタッフがヨーグルトケーキに果物をちりばめご用意しました。「ありがとう、ありがとう！」と大喜びされ、皆さんに「おめでとう」と声をかけられながら笑顔溢れる良き１日となりました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・Uさんの飼い犬が毎週木曜日一緒にデイに来られることになりました。他の方達で、犬が苦手、動物が苦手の方がいるかもしれない。と思っておりましたが、犬のララちゃんが来た瞬間普段笑顔が少ない方も満面の笑みで、またホールにいた方ほとんどが笑顔になりました。今後も利用者さん皆さんの「癒し」のお仕事をララちゃんにもお願いしたいと思います。

■ゆかりの樹：犬飼裕美さん

・今週は皆さんから「久しぶりにカレーが食べたい」とのお話しがあり、皆さんで夏野菜カレー作りをしました。野菜の切り方等手際よくされ完成したカレーに「やっぱりたくさん作るカレーは美味しい」と喜んで下さいました。

・雨続きの毎日でしたが、晴れた日には資福寺の紫陽花を見に行ってきました。お休みさせることの多いTさんですが、「こんな素敵な所に連れて来てくれてありがとう」と笑顔も多く喜んで下さいました。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・少し雨が降る中でしたが、白石のおもしろいし市場へ、ご利用者さん全委員でソフトクリームを食べにお出かけしました。屋根がかかっているテーブルと椅子があり、皆さんで外を眺めながら、美味しく頂きました。道の駅のように、いろんな特産物もあり、少しだけでしたが店の中を周り、気分転換をされていました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・9日はかき氷イベントがありました。雨で少し寒い天候でしたが、皆さんのリクエストで温かいぜんざいと冷たいかき氷のコラボを楽しんで頂けたご様子でした。ワクチン接種２回目も終了し、デイサービスの利用を再開される方もちらほら増えていらっしゃいました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・今週は雨の日が続いておりました。午後の時間を使いおやつ作りを行いました。ご利用者からの声もあり、職員がおやつを作る事を提案し、実施いたしました。ご利用者からは「うまいね。」、「たまにはいいね。」と声を頂いております。今後もご利用者の声を大切にしながら楽しい時間を過ごします。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・雨が続き、雨にまつわるニュースもテレビで目にしており、気分もふさぎがちになるところですが、そういった中でもご利用者の皆さんからは、送迎中には「紫陽花綺麗ね。館山公園の紫陽花も見だよね」や、ホールでは、美容室に行ったご利用者さんの姿をみて「きれいになったこと」と言ったり、「こだ雨ばりふっど、洗濯物かわがねがらやんだぐなっこだね。あやまったや」と、地元言葉で笑い話にしながら過ごされています。その時の表情は晴れ晴れとしています。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・7日の七夕に誕生日を迎えたご利用者がいらっしゃいます。なんと100歳を迎えました。当日は町長がお祝いに自宅に来るとのことでＤＳを急遽休みますと家族から連絡があり、誕生日イベントを計画していた職員たちはとても肩を落としました。お祝いに、七夕の踊りを練習し、誕生日ケーキも用意していました。ところが、ご家族より町長がお帰りになったあとは、仕事に行くのでさくらＤＳを利用したいと連絡が入りました。主役が登場です。百歳は桃色のちゃんちゃんこを着るようで、職員の家族が作った手作りちゃんちゃんこを来て頂き、笑顔で「ハイ、チーズ」出来上がった写真は、あれ、目が閉じてる？百歳のお祝いの善はお赤飯、煮物、焼き魚、黒豆、果物、お吸い物と彩りよく豪華でした。そして職員が浴衣や甚平を着て、七夕の曲に合わせた踊りを披露しました。しっとりと笹の葉を持つ手先は日舞でもやっていたかのように錯覚しました。各々がこの日の為に練習したようです。百歳の誕生日と七夕イベントは大盛況でした。百歳を迎えた方の短冊に書いた願い事は、「デイサービスに元気で通えますように」でした。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・杜の家ゆづるにも立派な七夕様が飾られました。この七夕飾りは毎年恒例になっている「いきいきの会」（鶴巻地区のお年寄り自主サークル）から贈られた七夕様です。地域のお年寄りが作成し鶴巻コミュニティセンターで飾られた後に7/7杜の家ゆづるに今年は展示することができました。昨年はコロナ禍で地域の七夕会も中止。今年は七夕飾りのみの交流となりましたが、来年は七夕会に杜の家ゆづるからも参加し一緒に交流ができると良いなと七夕飾りを取りにいった際に会長さん達と話しをしました。ゆづるの皆さんも思い思いに願い事を書き短冊を飾り、少しづつ以前の日常が戻ってきている事をお年寄りと一緒に実感できる七夕様となりました。皆さん思い思いに願い事を書きました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・11日に資福寺（あじさい寺）に外出しました。雨が降る中でしたが、参加された方々はあじさいの花を見ながら「きれいだこと～」と言って喜んでいました。男性の利用者さんも来てよかったと話しておりました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・ユニット毎に利用者さんと何を植えるか相談しプランターに植えた野菜が日に日に成長しています。毎日水やりをされている方、成長を観察される方、利用者さん同士で野菜の成長について話をされたり、面会に来られた家族様も一緒に野菜の成長を楽しみにされています。

**【7月12日～7月18日】**

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・日々、利用されている方と作成し今月の「設え」が完成しました。テーマ「梅雨」です。「設え」を通して四季を感じたり、四季の流れを感じて頂きたいという職員の想いと毎月変化する「設え」の完成にご利用の方は、達成感と喜びを感じ、職員・ご利用の方と共に四季の流れの速さを感じております。「もう梅雨の時期だなー」「もう７月がぁー」「あっという間だにゃー」などなど。

・「神社へ行ってお参りがしたい！」という声を聴いた職員が当日に調整し、八坂神社へお参りにいきました。小規模だからこそ出来る柔軟性を今後も職員間で連携・協力し、ご利用の方の「やりたい！」を実現していきたいと思います。

・猛暑の中、デイホームにある洗濯機を囲っていたベニヤ板の解体を佐藤賢二さんと行っていると畑作業をしていたIさんも手伝って下さりスムーズに解体することが出来ました。実は、囲いを作ったのも当時の管理者とIさんで作成したようでした。解体作業に入る前に、Iさんへ説明してされている光景は、関わりの中で一番大切な「配慮」の一面を感じる瞬間でした。



■杜の家ふたば：平澤文さん

・梅雨が明けたので、利用者さんにも畑の手入れや苗植えを手伝っていただいております。収穫した野菜をどうやって調理しようか、皆で相談中です。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・梅雨の合間をみて、ボタニカルガーデンへドライブに出掛けました。「出かけると必ずソフトクリームね」と笑顔で帰って来られたご利用者さんが印象的でした。夏祭りの準備も着々と準備にとりかかっています。「夏と言えば…すいか、花火！」そんなご利用者さんの声に答え、今年も綺麗な花火を楽しみたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：鈴木篤史さん

・13日に克己さん、幸子さんとスタッフ２名で七ヶ浜海岸までドライブに行きました。その日は天気も良く海岸沿いを歩きながら海風にあたり散歩をしました。風は少し強かったですが二人とも気持ち良さそうに外の空気に触れながら「あー気持ちいいなあ」と話されていました。

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・15日はブレスレット作りイベントを行いました。手先の器用な利用者さんが多く自分の思い思いの世界で一つのブレスレットを真剣に作っておられました。「これ見て～」「大切にするわ～」と笑顔で話して下さいました。当日参加したくてもできなかった利用者さんに通常利用日に個別で作って頂くなどしっかりとご本人のお声を聞いて対応することができています。これからもご本人のお声を大事に関わっていきたいと思います。利用毎にブレスレットを大事に付けてきてくださる方も多く見られておりとても嬉しく思います。

■グループホームめぶきの杜：小山匡信さん

・来月の夏祭りに向けて皆さんと一緒に夏の思い出を話しながら吹き流しやイベントの計画を企画しております。コロナ禍のこともありますが皆さんと様々な意見を話しながら案を考えておりました。職員だけでなく皆さんとともに作り上げる夏祭りは今からでも楽しみにされている様子があるため有意義な夏祭りにできるようにしていきたいと思います。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・17日元寿司職人の入居者さんに、お寿司を握って 頂きました。みなさん「美味しい、美味しい」と召し上がり、ご本人さんもとても良い表情をされておりました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・13日二回目の紫陽花ドライブへ行きました。予定をしていた太陽の村は飲食の場所がお休みで、紫陽花を眺めて城址公園へ行きアイスを食べようという事になりました。イチゴかバニラか。紫陽花を眺めながら一服し戻りました。夕食は今月4名の方の誕生日の為、誕生日会をしました。寿司が食べたいねと寿司とビールなどで乾杯しました。「こんなことしてもらったの初めてで…」とMさんが号泣し、Tさんは愛知の娘様の手紙に涙しました。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・レベルが下がり、ご家族との面会が増えてきたご利用者さんには、笑顔の時間も増えてきました。先週でしたが、7日に七夕会をし、久しぶりのこども園の子供達との交流をしました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・今週はじめじめした気温が続いておりました。みやぎの杜の菜園もご利用者、職員が大切に育てており、すくすくと育っております。おくらやきゅうり、しそなど取れたての野菜はご利用者と昼食の際に食べております。「立派に育ったね。」、「いつの間にか大きくなったね。」と成長を楽しみにされております。暑い時期になりますので、水分をこまめに摂りながら過ごして頂きます。

■ゆかりの樹：犬飼裕美さん

・今月お誕生日のCさんのお祝いをしました。普段なかなか皆さんの輪の中に入れないCさんですが、皆さんからのお祝いに笑顔で「ありがとう」とお礼を言われコーラで乾杯しました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・ゆかりの杜で植えている「きゅうり」は今年3本採れると早々と枯れてしまいました。その代わりではないですが、ナス、シソの葉、トマトが元気に育ってくれています。今週はナスが4本収穫でき、シソの葉と味噌でナス田楽のようにして皆さんで調理し食べました。採った時は、「大きくなったな」と収穫したのに、料理してみると一人一口分程に小さくなってしまいました。「もっと食べたかった」という声もありましたが、「美味しく育ったね。シソが良い香りだよ」とその一口を皆さん大切に味わっておられました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・ミミチャレについて：話し合いを重ね入居者さんやチャレンジャーの想いに添えるよう取り組みを進めています。GHゆかりの杜では４名表明しています。それぞれが自分の苦手分野について真摯に向き合い、入居者さんのことを自分ごとと考えられるよう助言しながらチームで動くこと、その先に見えるであろうゴールに向かい、少しずつ動きだしています。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・先週より皆さんに確認しながら、吹き流しを作成しております。習字紙に好きな色の絵の具を付け、皆さん楽しまれながら作成しておりました。その後自宅に持ち帰っております。

・15日ご本人より、今月はどこに出かけるの？と聞かれる事が多くなりました。先月は、仙台農業園芸センターや、仙台新港までドライブに行ったりしておりました。本来であれば先月から今月上旬にかけてあやめ園に行ければと思っておりましたが、天気等でなかなかいけず・・。本日もどこか行きたいとお話があり、皆さんに確認して、近くですが、動物愛護センターに数名と一緒にお出かけし喜ばれておられました。今後もご本人の要望に応じながら対応していけたらと思います。そして来月は七夕を少しでも見に行けたらと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・18日に「夏祭り」を行いました。今回は夏祭りの出店メニューを利用者さんと一緒に作成しました。お昼のカレー、わたあめ、ポップコーンを診療所側、焼きそばを老健側で行い、外の炎天下の中では焼き鳥、フランクフルトを数名の男性陣と一緒に焼きました。気温が高く、出来上がり次第かき氷も一緒に配り、焼きたて、作り立ての出店メニューを召し上がって頂きました。午後からは、イベントでは久しぶりの職員の出し物を行いました。スタッフの仮装に喜ばれ、記念撮影をされる利用者さんも多く、その後のすずめ踊りも「たいしたもんだ」と仰る男性の方、毎回喜ばれる女性陣。「疲れたけど楽しかった」と帰りの送迎時お話しされていた方が多くいらっしゃったそうです。天候にも恵まれすぎた今回の夏祭り、利用者さん、スタッフ汗だくで楽しんだ1日でした。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・16日午後より長期でショートステイをご利用されている利用者さんより以前から衣類の夏物が無いので

買いに行きたいと相談があったので、職員と一緒に衣類を買いに出かけました。沢山の衣類から職員の意見

も取り入れながらご自分で選んだ衣類を購入され満足気な様子で戻られた様です。しばらくぶりの外出という

こともあり、とても表情もよく買い物を楽しまれて帰って来られた様です。

■グループホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週は資福寺へ紫陽花を鑑賞に行きました。ご利用者さんからも「やっぱり外に出るのはいいな、本当は歩くの好きなんだよ」との声も聞かれました。梅雨も明け皆さんの気持ちも外へ向いているようです。新しく入居された方もいるので、外出などを通して交流を図って行ければと感じます。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・1日から入職されたドライバーさんですが、前職は建材関係の副社長をされた方ですが、とても腰が低く、言葉使いが丁寧で逆に教わることが多くあります。また、「昔あそこは○○してたところですよね」と仙南地域を仕事で周っていたこともあり、ご利用者さんと会話が弾んでいます。初心に振り返り、しっかりと相手に伝わる挨拶をしることの大切さを痛感しました。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・人生会議再開し、今週は3人のお意向を確認しました。医療的なところでは皆さん延命を望むと返答され、文言通りに問うと「はい」と答えやすい傾向にあるようにも感じつつ、ご本人の現段階のご意向として確実に記録していきたいと思います。また首都圏のご家族については帰省の見通しが立たないとのことで、私の方で聞き取りしたものを送ってくださいとの希望もありました。先日の全体会議のように事前承諾の上、録画もしながら行おうと考えております。

・16日、久しぶりにドライブに行きたいとの声を受け涌谷方面に外出してきました。面会や外出の制限が緩和されたとはいえ、感染者数では拡大傾向につきご家族もリスクを考えてそれほど積極的ではないように感じます。新しくパートさんも増えて男性陣2名も育休前でまだいる状態なので、今のうちに行きたい場所にお連れできればと思います。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・14日は今月二回目の収穫祭を行いました。今回のメニューはゴーヤーチャンプル、餃子、ミネストローネで、以前収穫していたカリフラワーも使用しました。味も上々で皆さん「おいしい！！」と話していました。食後は荒浜フルーツパークまでドライブに出かけ、海にも寄ってきました。皆さん満足しておりました。

・現在「働く」をテーマに事業所で話し合いを持っています。13日には当事者と一緒に社会福祉協議会等へ出向き、地域のボランティアや仕事について確認しております。15日は当事者二人と他施設のダンボール回収作業を行い、業者に買い取ってもらいました。396円の収入を得ています。アルミ缶も買い取ってもらえるとのことだったため、今後作業活動の中に取り入れていきたいと考えています。

・17日はTさんと塩釜港マリンゲートにあるブレアマリーナというイタリアンレストランで食事をしております。Tさんパスタが食べたい話されており、ご家族に経緯を伝えてそれならブレアマリーナで食べたいのではないかと話されており、今回のドライブを企画しました。Tさん喜びながらパスタを食べる姿が見られ、終わった後、写真をドライバーと一緒に眺めながら振り返って楽しまれておりました。家で家族も写真を見てとても喜ばれております。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・1階ユニットで、誕生日会とおしゃれをしての撮影会が行われました。男性はワイシャツにネクタイ、女性は浴衣を着ていただきました。自分の浴衣姿を何度も見られたり、皆さんとてもいい表情で写真に写っていました。面会に来られたご家族さんも喜ばれ、スマホで写真を撮っていかれました。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・1日よりターミナルケアに意向されているKさん。最近食事も喉が通らない様子で、1口2口で終了してしまうことも少なくありませんでした。ご本人の食べたいものはなんだろう。フロアのスタッフがご本人にうかがうと「刺身」とのご返答。すぐに医師や管理栄養士、看護師、介護士で話し合い、その日のうちに刺身を買いに行き、召し上がっていただくことができました。まさに現在行っているACPに繋がるかかわり。今後も本人に聴くことを大切に、日々のかかわりを自在に深めていきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・Aさんは、昔ゲートボールをやっていて大会にも出場するほどの腕前です。しかし、体調を崩してからゲートボールをする機会がありませんでしたが、デイケアにスティックとボールがありやってみませんかと声をかけるとスティックを持ちボールを上手に打てました。Aさんも「しばらくぶりにやった。人に見られてやるのもいいもんだ。」と喜んでいました。まだやれると思ったのか自信がついたように見えました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・14日人事部渡辺なつみさんと学生さんが事業所見学にお見えになりました。今回見学にあたっては人事部渡辺さんと事前にお電話にて、当日お年寄りの方々より「生の声」を聴いた方が良いと打合せしており、当日は3人の奥様方と学生さんで話す時間を設けました。お年寄りの皆様も「めんこい孫ちゃん、いやひ孫だが」と笑顔で学生に接し、ゆづるにお世話になっていることや何で気に入って通ったりしているかを学生さんに説明しておりました。学生さんも生のお年寄りの意見を聞きとても良い表情をされておりました。お年寄りの皆様も「若いお姉ちゃんと話して元気でたよ、若い人としゃべるのいいね」ととても好評でした。また、見学の際には「当事者の方々より生の声」を聴く時間を設けたいと思います。最後に見学した学生さんの印象を奥様方に問うたところ開口一番「あの子は育ちが良い子だ（育った環境）、ニコニコって私たちの話も聞いて、初めてでもしっかりお話できてたよ、ゆづるに働きなさいって言っといたから」と話して下さいました。「なつみさん、採用ですよね」あとは宜しくお願いします。また、学生さんの見学をお待ちしています。

**【7月19日～7月25日】**

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・最近、ご利用になられた方のご家族より、『7/20に帰ってきてからとても穏やかにニコニコしているので、とても嬉しいです。すばらしいケアをして頂いているのだと実感しております。ありがとうございます』という嬉しいコメントを頂きました。小規模だからこそ出来る関わりをしっかりと職員一人ひとりが理解し実現しているからこそだと感じました。職員と共有し今後の糧と励みとしてデイホームいずみの杜「らしい」関わりを利用されている方一人ひとりへアプローチし続けていければと思います。

・デイホーム畑で育った野菜をIさんのご家族様へプレゼントしました。職員が箱へ綺麗に摘めて色紙を作り事業所でIさんへ職員が渡すと照れながらも嬉しそうに受け取っていました。

・「イカめし作り」を行いました。職員も利用されている方もモチ米を詰めるのに苦労しながらも、イカめしを目の前にすると嬉しそうな顔をされ昼食時には、美味しそうに召し上がっていました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週は「七夕館」へドライブに出かけております。「蒲鉾館」の方はお客さんがたくさん来ていましたが、「七夕館」は貸し切り状態でした。綺麗な吹き流しがいくつも飾ってあり、ゆっくりとスロープをのぼり、ゆっくり降りて色んな角度から楽しんできました。しかし、皆さん吹き流しは見慣れているのか「蒲鉾食わねえの？」「美味しそうだね」と興味は蒲鉾の方へ向いているようでした。

■杜の家ふたば：平澤文さん

・21日。7月イベントとして皆さんでお好み焼きを作り会食会をしました。

・７月に入ってから何度かかき氷を皆さんで作って召し上がっていただいております。Nさんはかき氷がとても気に入ったようで「（かき氷器）なんぼで買えるの？」と興味津々でした。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・昨年、お見取りで退所されたMさんの旦那さんが「食べきれないから手伝って！」と今年もたくさんのじゃがいもときゅうりを持って来てくださいました。ホームの顔なじみの方々のことを気にかけてくださり、旦那さんのお元気そうな顔を拝見できてとてもうれしかったです。コロナが落ち着いたらビールを飲みましょうとお伝えしました。

・尾形さんが中心となってお世話して下さっていた畑の野菜たちですが、天気が良いこともあり、どんどん成長しています。大葉、ピーマン、トマト、モロッコインゲンが食べごろで、次から次へと収穫しないと大きくなりすぎてしまいます。尾形さんが異動されたことで以前より雑草が多くなってきていますが、みんなで草取り当番を決めながらいい状態を保てるようにしていきたいと思います。かぼちゃがだいぶ大きくなり、「でっかいね～」と言いながら、収穫時期を待っています。

■介護老人保健施設いずみの杜：荒木卓也さん

・暑い夏が始まりました！そんな暑さを吹き飛ばすかき氷イベントを開催いたしました。冷たくておいしいかき氷を皆さんで作って掻き込んで、お腹を壊される方もなく涼しいひと時を過ごすことができました。

・24日には、七夕館と笹かま館そして利用者さんからの要望で松島にも行かせていただきました。七夕館を見て「キレイね、宮城は良いわね。」と地元の話で盛り上がりました。松島には到着しましたが混みあっていたので車の中から景色を眺め海風にあたり帰宅されております。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・人生会議を再開しています。「いつもこんなにしっかり話すんですか」と驚かれているご家族を前にＳさんはご自身の想いや希望を丁寧に話されていました。「家族にはやはり迷惑をかけたくないから延命は望みません」「最期は穏やかであればいい」「自宅や病院ではなくここで」と何度も話されます。私たちはＳさんの想いを受け止めますとお伝えするとほっとしたように微笑まれていました。ご本人、ご家族、私たちの距離がより一層近くなったような気がいたします。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・24日 ジェマさんが作ったフィリピン料理を再び昼食に召し上がって頂きました。皆さん「美味しい」と完食されておりました。料理の他「私もやってほしい、、、」と彼女のマッサージは大好評です。みなさんの表情を見ていると身体だけでなく不安な気持ちも癒されているような感じがします。日本語を一生懸命、学ぼうとしている姿勢がすばらしいとおっしゃる利用者さんもおり、改めて利用者さん達は私たちスタッフ一人、一人の事をよく見ていると感じます。

・20日 利用者さん、後見人さんとともに久しぶりに奥様（いずみの杜を利用されている）がいるご自宅に帰り人生会議を行いました。ご本人さんのご意向ははっきり伺うことはできませんでしたが、、、帰り際もお二人とも名残惜しいご様子で、短い時間でしたがとてもいい時間だったと思います。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・19日ご利用者さんと一緒にスイカ割りを行っております。ご利用者さんに積極的に参加して頂き、掛け声をみんなで言ったり、笑顔の多い楽しい時間を過ごすことができました。今後も季節感を味わって頂けるようなイベントを考えていければと思います。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・15日に新規入所されたご利用者さんが20日に誕生日を迎えられました。ユニットにて色紙とケーキで皆さんとお祝いをしています。入所されて5日目ですが、保険のセールスをされていたこともあり、あっという間に皆さんと打ち解けられています。

・今まで在宅で過ごしていた際に、杜の家かぐらの訪問サービスも利用されていたので、お誕生日の日には、杜の家かぐらの職員さんもお祝いに来てくださり、とても喜ばれていました。時々、家の事を心配されている様子はありますが、「こんないい部屋に居させてもらって。お世話になっています。」話して下さるようになっています。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・ななみの杜の畑の作物が沢山実っています。トマト、ピーマン、ししとうは、毎日利用者さんが取ってくれています。真っ赤になるのを待ちきれず、ちょっと青くても収穫してくれています。23日は枝豆、じゃがいもの収穫をしました。その後、収穫した枝豆で、利用者さんと一緒にずんだ餅を作って食べています。味の感想を聞くと「美味しかったよ」等と言われていました。

・約２年ぶりに娘さんと面会をされた方がいます。お互いに待ちに待った面会で、とても嬉しそうにされていました。「娘に会えてよかった。私の自慢の娘なのよ！」と冗談交じりにとても嬉しそうに話されていました。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・職員が持参してくれたかき氷機で、かき氷を作り食べました。暑い日だったため、冷たいかき氷が格別に美味しく感じられていました。シロップの準備はしていなかったので、カルピスをかけてのかき氷も、美味だったようです。

■グループホームはごうの杜：名取直保美さん

・24日にUさん、Sさんのお誕生会を行いました。各ユニットで、ご本人が食べたいもの（Uさんはナスが好きという事で、お赤飯とナス料理）や誕生日ケーキを作り、お祝いしました。Uさんの娘さんからは「お母さんの好きなものを選んで頂いて、本当に感謝しています。在宅時より笑顔が多くなっていて、はごうの杜が母に合っているようで安心しました」とのお言葉を頂きました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・今週はＢＢＱのイベントを行いました。当日は、曇り時々霧雨でしたが、実施いたしました。お肉が好きな方が多くご利用されており、「焼きたてのお肉はうまいね。」、「たまにはこんな感じの食事もいいね。」など、皆さんお腹いっぱいになったとおしゃって頂きました。今後も季節に合わせたイベント、ご利用者からの声を大切にしながらイベントを行います。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・誕生日を迎えたご利用者さんのお祝いをしました。ご自分から「年齢は１９歳。今から彼氏を見つけないと」と、話され、皆さんを笑わせていました。また、「気持ちは若いままなんだけど、歳は返す事が出来ないからありがたく頂いています」「そうね、気付いたらこの歳になってしまって」等々、同席した方とやりとりをされていました。

・オリンピックが始まり、皆さん見入っている姿があります。前回の東京オリンピックの話題も出で、東洋の魔女、円谷等々その時に活躍した選手の事も話題にあがってきています。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・オリンピック開催となり、ご入居者さんも深夜まで熱心に応援されるなど活気に満ちております。「わたしも膝さえ痛くなかったら金メダルだな～」と笑顔で話されるRさん。「ここまで長生きされているのでRさんも金メダルですよ～」とお伝えすると「よかろう～よかろう～。わしは金金メダルじゃよ～」と大笑いされながら、授賞式顔負けの仕草をされておりました。周りにいた入居者のみなさんも一緒に大笑いされ、色々と意見はあっても日本で開催されているオリンピックはみなさんにとっても大変楽しみにされていたんだなと気付かされました。コロナ禍ではあっても、こうしてみなさんと一緒に大笑いしていられる日々に感謝です。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・各ユニットの設えが「夏」。ユニットごとに個性がでており、職業道楽を感じられる写真もたくさん飾られています。写真を眺めながらドライブに行った時の話を教えて下さる利用者さん。ラーメンを食べている写真を見ながら「私も食べっかな。職員さんに言ってみっから」と早速職員さんに話されている利用者さん。面会に来た時に飾られている写真をみて笑っているご家族さん。一枚の写真から沢山の笑顔や楽しみへと繋がっております。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・暑い日が連日続き夏の涼として、かき氷を作り、みなさんで食べました。「冷たくて美味しかったよ」「あんこも入ってお店で食べるのと一緒だ」など皆様大変好評でした。スタッフも「今日は暑いから、かき氷はどうですかね」と、パッと準備しお年寄りと氷を削ったりと、とても微笑ましい光景を見ることができました。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・21日に体験利用された方ですが、ご家族さんやCMさんからも「お風呂は多分声がけしても億劫がって入らないですよ」と前情報がありました。ところが、男性スタッフが「体験利用なのでお風呂も見てみませんか？」とお誘いすると「お風呂大きいなあ～」と言いながら、自分から服を脱ぎ始め、入浴後は「誰かにやってもらうのはいいなぁ」とスッキリとした顔でスタッフに話してくださいました。ご本人から、「ここに今度はいつ来れんのや？」と質問もあり早速契約日も決まりました。体験で出会えた縁を今後も大事にしていきたいです。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・1日よりターミナルケアに意向されているKさん。最近食事も喉が通らない様子で、1口2口で終了してしまうことも少なくありませんでした。ご本人の食べたいものはなんだろう。フロアのスタッフがご本人にうかがうと「刺身」とのご返答。すぐに医師や管理栄養士、看護師、介護士で話し合い、その日のうちに刺身を買いに行き、召し上がっていただくことができました。まさに現在行っているACPに繋がるかかわり。今後も本人に聴くことを大切に、日々のかかわりを自在に深めていきたいと思います。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・22日聖和学園の学生さんが施設見学に来られました。ご利用者の方と談笑しながら施設の中を見て頂きましたが、ご利用者の方から、「この仕事は大変だと思うけど、その仕事によって助けられている人がいるってことだから。頑張ってね」「誰もかれもができる仕事ではないけど、志すことが素晴らしいことだ。私達のことをよろしくね」と声を掛けられる方がいました。一緒に施設案内しながら私自身も励まされた気持ちになりました。

・2階ユニット23日名取の駅近くのサッポロビール工場へドライブに行きました。蓮の花が見頃を迎えており、ご利用者から期待以上だった。思っていたより良かったとの声が聞かれました。また来年もこの景色を皆さんと一緒に見ることが出来たらいいなと、ご利用者・スタッフからお話があがりました。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・22日の午後に利用者さんと職員とが協力して、おやつ作りを行いました。今回のおやつは、餃子の皮を使ったピザ作りです。利用者さんからは、「ピザでなくて、餃子が食いて～」や「どうやって作るの？」と言った話が聞こえてきました。それでも、みなさん自分の分を隣の利用者さんや職員に聞きながら作っていました。なかには、作っている途中で材料のチーズやハムを食べている方の姿も見られ、笑いが起きていたようです。それでも、何とか完成したようで、3時のお茶の時間に、みんなで一緒に食べられ、なかなか美味しかったようで、昼ごはんをあまり食べなかった利用者さんは笑顔で数個食べられ喜ばれていたようです。今回も会話を交えながら楽しく作業される様子を見ながら早くも、次回の計画を利用者さんの意見を参考にして検討していければと思います。

■ショートステイわかなの杜：齋藤匡晴さん

・21日にスイカ割りのイベントを行いました。男性のご利用者だけでなく、女性のご利用者の方も自分がスイカを割るんだと言わんばかりに、力いっぱい棒を振りかぶって参加されていました。驚きあり、笑いありの楽しいスイカ割りとなりました。

■グループホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週も面会や自宅への外出など実施しております。また、7月生まれのご利用者がおりケーキを手作りし、お祝いをさせて頂きました。オリンピックが始まると皆さんテレビに夢中で過ごされております。若い選手たちの競技に興奮される方も見られました。